

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部リサイクル プラザ	直通電話	64-3196	事業コード	205010303	課内	5	作成日	平成15年8月6日
		担当者	三宅 宏	担当課長	相澤 幸一	担当部長			吉田 保雄

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	リサイクル関係講座開催事業	開始年度	H12	終了年度	未定								
		最近の事業内容見直し年度											
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>2050103</td> <td>環境衛生の充実 / ごみ処理の充実 / ごみの減量化・リサイクルの推進</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	2050103	環境衛生の充実 / ごみ処理の充実 / ごみの減量化・リサイクルの推進				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
2050103	環境衛生の充実 / ごみ処理の充実 / ごみの減量化・リサイクルの推進												
3) 個別計画での位置付け	石狩市環境基本計画(平成32年度リサイクル率30%を目指す。)												

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市民のリサイクル意識と環境汚染に対する意識を高める。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ごみの減量化と環境汚染の軽減を図る。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工講座(教室)、石けん作り講座の日程を前もって決定し、広報誌で市民に知らせ受講の申込を受ける。</li> <li>・講座当日は、講座の材料について説明し、廃材、廃食油でも再利用することによりごみの減量や環境への負荷を軽減することが出来ることを理解してもらう。</li> <li>・石けん作り講座参加者は、家庭にある廃食油を持参する。</li> <li>・講座の中で時間を割いて、受講者を資源物分別プラントに案内しごみの分別について説明し、資源物をごみとして出さないことと、出し方について指導する。</li> </ul>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ごみの減量化や資源の再利用及び環境汚染の軽減化のため、同様の事業を行っている自治体もある。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	参加者(市民)に対しアンケート調査を実施し、講座内容のレベルアップを図っている。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	119	102	99	96	教材費	83
2) その他の間接経費(千円)					事務機器賃借料	16
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,383	2,404	2,388			
総事業費(1~3の合計;千円)	2,502	2,506	2,487		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)	2,502	2,506	2,487			金額(千円)
市民一人当たり一般財源使用額(円)	45	45	44			
事務に従事した正職員のべ人数	0.29人	0.29人	0.29人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
講座開催回数(回)	目標値	19	40	43	43	目標値は事業計画に基づく講座開催回数で設定
	実績値	19	40	43		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	目標値				/	
	実績値					
	達成率					
	目標値				/	
	実績値					
	達成率					

## 5 事業の成果

事業名: リサイクル関係講座開催事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
講座参加人数(人)	目標値	130	320	405	405	・目標値は講座の定員で設定 ・実績値は講座参加人数	受付簿
	実績値	107	277	293	目標レベル		
	達成率	82.3%	86.6%	72.3%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	廃材を利用した講座・教室は、プランター作り、夏・冬休みを利用した親子教室の開催、廃食用油を利用した粉・固形石けん作りを開催し、内容を変更するなど市民に対して参加意識を高めることができた。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	廃材・廃食用油のリサイクルすることで環境に対する負荷の軽減を図るなど、市民が環境に対する意識の必要性が認識され、今後は、多数の市民が事業に参加し、環境に対する関心を高める上で必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	リサイクル活動を推進するために講座を行っているが、機械による事前準備や加工技術を要するものもある。しかし、廃食用油で作る固形石けん講座はボランティア団体による参加の検討も考えられる。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	事業内容は市民に大変喜ばれ、また、普段参加が少ない男性市民を多く参加するようになってきている。しかし、事業参加者に材料費実費相当の負担を求めることを検討する余地があると思われる。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	<b>B</b>	[最終評価]	<b>B</b> (前年度)
	参加者に大変喜ばれ、また、リサイクルの大切さ環境に対する意識が図られるなど、参加された市民に啓発が図れた。		各種講座を通して、総合的なごみの減量・リサイクル教育が実践された。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	講座の回数、内容がマンネリ化にならない工夫が必要である。
最終評価	市民一人ひとりがごみの減量・リサイクルの推進について自発的な行動を引き出せるような講座内容の充実を目指します。

## 9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統 合		
	休・廃止		
上についての説明	講座の内容にマンネリ化が見られるため、内容の充実などレベルアップを図る必要がある。		